

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第92号

発行日
令和5年6月1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| P-2: 定期総会・部会打合せ | P-11: 小なきり海岸清掃作業、 |
| P-4: 山脇自然保護官、内山自然保護官着任挨拶 | 自主観察会(1)小なきり海岸植物調査 |
| P-5: 入浜池定点観察③、 | P-12: 入浜池補足調査① |
| 入浜池維持管理作業③ | P-14: 清掃登山(大砂利地藏～鷹ノ巣高砲台) |
| P-8 : コバンモチ樹木ネット保全確認作業 | P-15: 編集後記 |
| P-9: 宮島学園卒業記念植樹協力 | |

「 ミヤジマシモツケ 」



1913年に宮島で発見されたミヤジマシモツケは、4月下旬～5月上旬にコデマリに似た白い花が傘状に咲く落葉低木です。宮島では、シカに食べられて自然絶滅に近い状態で、柵に囲われた場所に株分けや挿し木で移植したのが育っています。

ミヤジマシモツケ (ウラジロイワガサ) バラ科シモツケ属
広島県絶滅危惧種 広島県レッドデータブック 2021 絶滅危惧Ⅱ類

(撮影日：2023年4月22日、場所：宮島学園、 文：末原)



4月1日の定期総会、久々に満開の桜と一緒に記念撮影しました。(写真：河野会員)

定期総会・部会打合せ

日時：令和5年4月1日(土)

総会 9:30～11:00

各部会 11:20～11:45

場所：宮島まちづくり交流センター杉之浦

出席者：麻生 上杉(裕) 上杉(幸) 大西 大林
小川 恩田 金山 北野 河野 小林(勲)
小林(み) 佐渡 佐藤 末原 種本 兎谷
中道 長村 二神 穂井田 増田 舛田
松田 村上(光) 元広 森 山本(加)
山本(昌) 横路 呼坂
以上31名(委任状提出者を除く)

環境省：中国四国地方環境事務所国立公園課
長 柘植様、大高下 AR

桜も満開。コロナ規制も解除され多くの観光客でにぎわう宮島で、いつもは静かな杉之浦にもG7準備工事がトラックが行きかう中、総会を開催しました。

1. 開会(司会 小林副会長)

- ・全員で自己紹介

2. あいさつ

環境省 柘植課長

宮島PVの皆さんの日ごろの活動に感謝しています。

藤重、永瀬自然保護官が退職し、新たに山脇、内山自然保護官が就任するので、引き続きよろしくお祈いします。

大高下 AR

15年目になります。活動は、「何をやるか」も大事だが、「誰とやるか」も大事。人との交流を大切に、楽しんで活動しましょう。

末原会長

宮島は、大鳥居の修復も終わり、来月5月にはG7で各国首脳が宮島を訪問するとの話もあることから、多くの来島者を迎えています。

昨年度はコロナも収束に向かい、各部会も概ね予定行事を実施できました。

一方、メンバーの高齢化もあり、体力と調整しながら、引き続き無事故無違反で活動しましょう。

(その他、10月実施予定の宮島入島税の情報提供あり)

3. 出席者、総会成立確認

出席者 31 名、委任状 7 名で、全会員の半数以上に達し、総会成立

4. 議事（議長 末原会長）

次の 4 議案について、会長、各部長、会計、監査員から説明・報告があり、異議なく承認されました。

議案 1 令和 4 年度活動報告

議案 2 〃 決算・監査報告

議案 3 令和 5 年度活動計画（案）

議案 4 〃 予算（案）

5. その他

河野環境整備部長から：

昨年度案のとおり、会のホームページを作成した。12 月 1 日から一般閲覧可能となっており、閲覧数も増加している。見てください。

なお、会員向けページは 4 月 1 日に開設予定であったが、6 月頃の予定。そこに掲載する内容は、広報部で検討することになると思う。

舛田会員から：

9 月 30 日会員交流会「庄原」の紹介

大高下 AR から：

7 月 1 日 環境省研修「宮島のシカ」の紹介

中道会員から：

来年度以降の研修会案として、宮島のことをもっと知るために、宮島のビデオ（宮島町所蔵）学習や、大願寺のことを教えてもらおうとよい。

6. 写真撮影

杉之浦センター前の満開の桜の下で、全員の集合写真を撮りました。

7. 各部会実施

昼食後、希望者は「世界文化遺産貢献の森林」を見学した。



総会(1)



総会(2)



観察部会



環境整備部会



広報部会

(文 : 二神 写真 : 河野、麻生)

山脇自然保護官着任挨拶

出身地：生まれは大阪、育ちは京都

経歴：平成 8 年に農林水産省に入省。その後、平成 20 年に環境省に転籍し、九州地方環境事務所（熊本）→那覇自然環境事務所（沖縄）→関東地方環境事務所（埼玉）→近畿地方環境事務所（大阪）→中国四国地方環境事務所（岡山）→松山自然保護官事務所（愛媛）を経て、令和 5 年 4 月に広島事務所。

趣味：健康のために走ること

ひとこと：

はじめまして、山脇と申します。前任地は、瀬戸内海をまたいだ四国松山にいました。松山在任中の昨年にプライベートで生まれて初めて宮島を訪れました。そのときは、対岸の広島事務所に赴任するとは夢にも思っておりませんでした。今となっては運命を感じます。初めて訪れたときの宮島の印象は、厳島神社をはじめ荘厳な歴史があり、弥山には植物学的にも興味深い原始林もある。また、利用施設として弥山展望台があり、国立公園として見所が盛りだくさんで、外国の方も多く訪れていて、シカもいる。広島自然保護官は大変だなあと他人事のように考えていましたが、今はお尻に火が



ついたように、宮島のこと、広島のことを吸収しようと努めています。

これまで人の営みや自然を深く理解し、その知識を伝えてこられたパークボランティアの方々と一緒に活動できることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

内山自然保護官着任挨拶

出身地：静岡県

経歴：令和 3 年 4 月に入省。生物多様性センター（山梨）を経て、令和 5 年 4 月に広島事務所に着任

趣味：果物の食べ比べ。最近は水族館めぐり。

ひとこと：

はじめまして、内山と申します。環境省入省 3 年目になりま

す。広島事務所での仕事は、前任地の生物多様性センターではモニタリングサイト 1000（全国の生態系調査）等の担当をしております。仕事内容は前任



地では経験したことがないものばかりで、日々勉強の毎日です。現場を持つ事務所ならではの楽しさや悩み等も出てきてまだまだ慣れない部分は多いですが頑張っていきたいと思っています。

宮島に初めて訪れたのは学生の頃です。青春 18 切符を使って電車で来たので移動時間の方が長く、広島での滞在時間は短かったのですが、厳島神社の大鳥居越しに沈む夕日に感動したことを覚えています。

宮島には長い歴史も豊かな自然もある。多くの方に宮島の魅力を伝え続けていけるよう、これまで宮島で活動してこられたパークボランティアの皆様と一緒に考えながら活動していけたらと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

入浜池定点観察③

入浜池維持管理作業③

日 時：2月11日（土）

場 所：入浜池

天候：晴れ

行事推進員

・観察：大西 小川 小林(み) 穂井田
松田 横路

・環境整備：恩田 山本(加)

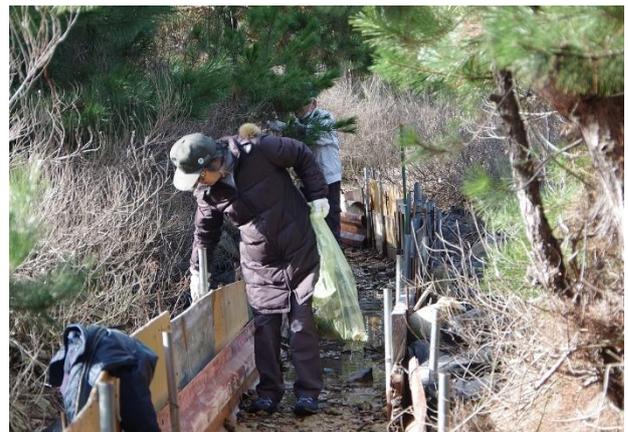
出席者：大西 小川 恩田 河野 小林(勲)
小林(み) 末原 長村 穂井田 増田
村上(慎) 森 山本(昌) 横路
以上 14 名



(写真：河野会員)

【環境整備部】 恩田 浩幸

久しぶりの入浜でしかも2月。この時期の入浜作業は毎年寒いイメージが強く、また作業の間があいていて水路等荒れていることが多く、どんよりとした気持ちになるのですが、この度は珍しく気候が安定し強い風もなく穏やかに作業を終えました。前日に廿日市市の方が、海岸線の大きなゴミは取ったみたいで中・小のごみを拾いました。（水路は前もって修復したそうです。水路と沼に水が殆どなかったのが気になります。）



(写真：河野会員)

【水質調査】横路 晃

調査班：小林(勲)・横路

今年に入り、1月からの降雨量が少なく池の水位が極端に低くなっていました。測定結果は次の表の通りです。

		満潮(12:53):314cm			干潮 (19:09):62cm			
調査時刻	9:40	10:20	9:55				10:05	10:30
測定地点	A付近	B付近	中央付近	C	D	E	F	海水
杭. 水位(cm)		-27						
水深 (cm)	3	2	3				1	
塩分濃度(%)	2.1	2.16	2.3				1.16	3.0
PH	4.5	6	6				6	6
COD	6	6	6				4	1
池水の流出 状況(F地点)	水流なし			山水の 流水量 10ℓのバケツが満水にな る時間:18秒				

※ 測定地点の全ての地点で、水位が「杭」に達していませんでした。「杭」の付近で水取して測定しました。調査項目に、採取した地点での「水深」を追加しています。

・ PH については、試験紙での測定です。各地点でやや酸性の値となっています。

・ 塩分濃度については、測定値が 1.16~2.3%と、測定した全地点で高い値となっています。これは、先月の 1 月 21 日の満潮時の潮高が 367 cm で、その時に海水の流入が有ったためと思われます。その後の降水量が少なかったことも影響していると思われます。

・ COD については、A、B、中央付近は 6、F 点で 4 でした。汚れは少ないようです。

・ 杭の水位については、全地点で水位が杭まで達していませんでした。近年に無いことです。



B 点付近



A 点付近から望む入浜池

【植物観察】 山本 昌生

2022 年 6 月に設定したヒトモトススキの調査区を今回も確認しましたが、前回(2022 年 9 月 11 日)と同様に、生存している株は見つかりませんでした。また、前号で報告した調査区外で見つけた実生苗も厳寒期のためか、成長している苗の確認はできませんでした。実生からのヒトモトススキの苗の成長は見込まれないと思い、花茎にできている高芽から、苗の育成を試みることにしました。高芽を切り外して、近くに植えてみました(写真 1、2)。草丈 5cm と 8cm の苗です。印をつけて成長を見守ることとします。

池の水位は低くなっていて、イノシシのぬたばの跡がいくつかありました。ぬたばには、先端が枝分かれした体毛があり、イノシシの特徴だそうです。近くにイノシシの死骸があり、皮に付着した体毛も同様に先端が枝分かれしていました。(写真 3)。池の水辺附近はイノシシの活動の場になっていて、ヒトモトススキの株元を掘ることで株が衰弱し、最後には倒れてしまう株もあり、イノシシの行動が枯死の原因のひとつではないかと思いました(写真 4)。

この時期に目立つ植物は少なく、ヤブツバキ、アセビの花があり、ミミズバイの実がありました。



写真 1. ヒトモトススキの花茎の高芽



写真 2. 植え付けたヒトモトススキの高芽のひとつ（草丈 8 cm）

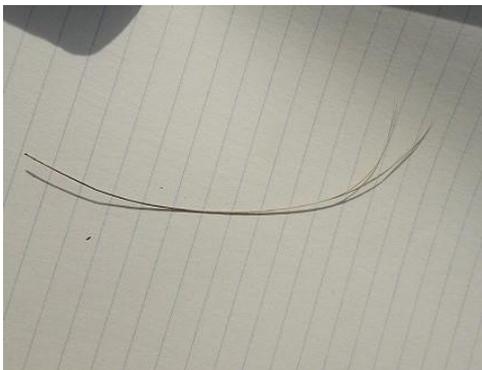


写真 3. イノシシの体毛（左が元で、右の先端が枝分かれている）



写真 4. 衰弱して倒れていたヒトモトススキ

【野鳥観察】 大西 順子

地鳴きなど鳥の気配を多く感じながら観察を開始しましたが、姿を見ることは意外と難しかった。期待していた冬鳥のうち 6 種を確認できた。ただ、カモ類、サギ類を全く探せなかった。

2 月 11 日（土）入浜野鳥調査

種 名	数	種 名	数
カンムリカイツブリ	1	ヒヨドリ	15
カワウ	2	ウグイス	2
ミサゴ	2	エナガ	8
トビ	4	メジロ	6
オオタカ	1	シロハラ	2
コゲラ	1	ジョウビタキ (♂・♀)	2
アオゲラ	1	カワラヒワ	3
ハシボソガラス	1	アオジ(♂)	2
ハシブトガラス	1	セグロカモメ	3
ヤマガラ	2	ミソサザイ	1
シジュウカラ	4	計 21 種	

季節区分	冬鳥	夏鳥	留鳥
------	----	----	----

季節区分は、『ひろしま野鳥図鑑』（2002 年 日本野鳥の会広島県支部（編）中国新聞社刊）」による。特に宮島での区分にこだわりました。



(エナガ 撮影：穂井田会員)

コバンモチ

樹木ネット保全確認作業

日時：3月4日（土）9:00～14:00

天候：晴れ

行事推進委員：森 吉賀

参加者：大西 小川 河野 末原 村上(慎) 森
森脇 横路 吉賀 以上 9名

広島大学参加者：坪田准教授とご家族 3名
内田技術職員 松坂大学院生 以上 6名

広島大学植物実験所の西側にある内侍岩から大江東付近に自生している、宮島の貴重植物である「コバンモチ」の樹木を鹿の食害から保護するために取り付けした樹木ネットの保全確認作業及び生育状況確認(約 90 本)を実施しました。

当日は晴天の中、宮島棧橋前広場に午前9時に集合し、4台の車に分乗させていただき広島大学植物実験所へ向かいました。

作業場所は、広島大学植物実験所から山道を歩き 30 分程度の所です。



作業場所に着くと、広島大学坪田准教授から保全作業の事始めについての説明とコバンモチについての解説がありました。



コバンモチは南方系の植物で宮島が北限の貴重植物だそうです。鹿の食害から保護する為、平成 15 年の豊原先生の時に樹木ネットの設置を始め、近年は 2 年おきに保全・生育調査を行っているとのこと。

坪田准教授のご家族にもご協力いただき、3 班に分かれ作業を行いました。



前回調査の 2 年前と比べ大きな変化はないようでしたが、「木が大きくなりネットをゆるめる必要がある木が何本か見られた」「ネットの隙間から食べられたシカの新しい食害も見られた」「シカの食害にあつて根元が腐っているものや枯れた枝も多数見られた」などの声が聞かれました。



作業場所はシダに覆われて足元が見えないところや急斜面が多く、足を滑らせながらの作業となりましたが、12時30分頃には皆さん怪我なく無事作業終了となりました。

その後、広島大学植物実験所まで戻り、浜辺で気持ち良い風を受けながら昼食をとりました。



広島大学の方々及びご家族の方のご協力、作業の段取りのよさ等により、予定より早く14時に解散することができました。

皆さんお疲れ様でした。



(文 : 吉賀 写真 : 河野)

宮島学園 卒業記念植樹協力

日時：3月13日(月) 9:00～15:30

場所：獅子岩駅辺りの斜面

天候：晴れ

参加者：大林 末原 福岡 増田 元広 森 呼坂
以上7名

今年も宮島学園卒業記念植樹のお手伝いをしました。この日の参加者は、卒業をひかえた生徒さん11名、学校の先生、広島大学、森林管理署、廿日市市役所、宮島弥山を守る会、サクラオBD(旧中国醸造)、当会の合計約50名でした。

行事案内では雨天決行とあり、週間天気予報では雨で、カッパを着ての作業になるかと憂鬱な気持ちでしたが、雨は夜に上がり、爽やかな晴天での作業となりました。

今回は、カシを主体にウリハダカエデ、ヤブツバキなど、これまでの倍近い40本の苗木の植樹で、以前に植えたものが枯れた後への植付け8本、残りは弥山への案内板裏の階段状の斜面への植付けとなりました。

宮島ロープウエーのご協力があり、人と苗木、植樹道具、鹿よけネットや堆肥などの荷物は獅子岩駅までロープウエーで運び上げられました。10時半頃、主催者（学校）の挨拶、参加団体の紹介の後、植樹手順の説明があり、別れて作業に入りました。多くの大人の指導の下、生徒さんが植樹作業を行いました。足場の悪い斜面での作業で、苦労しながら、穴掘り、堆肥などの混ぜ込み、苗木の植え込み、鹿よけネットの設置、水やりなどの作業を進めました。今回は植樹本数が多かったため、午前中では作業が終わらず、昼食後も作業し、2時頃までかかりました。道具を片付け、閉会をして解散しましたが、私は解散後、徒歩で下山しました。皆さんは道具をロープウエーに運び、最後までその後片付けをされました。

皆様、お疲れさまでした。私は、爽やかな好天の中、気持ちよく下山させてもらいました。



植樹手順の説明



植樹作業-1



植樹作業-2



植樹作業-3



植樹完了

(文：森 写真：末原)

・小なきり海岸清掃作業 ・自主観察会(1)小なきり海岸植物調査

日 時：4月1日(土) 12:45~14:00

場 所：小なきり海岸

天候：晴れ

行事推進員：

- ・環境整備：森 山本(加)
- ・観察：金山 北野 呼坂

出席者：麻生 上杉(裕) 上杉(幸) 大林 恩田

金山 北野 河野 佐藤 末原 中道 長村

二神 増田 舩田 村上(慎) 村上(光)

森 山本(加) 呼坂 以上 20 名

(環境省)大高下 AR

す。ヤブツバキは多数の花をつけている。ヒサカキ(雄、雌) ザイフリボク、ヤマザクラ、コバノミツバツツジが花をつけている。クスノキは新芽が花のように彩に。ヤマハゼは新芽の枝が赤く彩られている。サカキカズラは春先のタネがあちらこちらに撒かれている。 その他は今まで通りです。

(文：北野)



【小なきり海岸清掃作業】

総会終了後、小なきり海岸の清掃作業を行いました。流木、缶、ペットボトル、牡蠣パイプ、発泡スチロールなど 10 袋程度のゴミを回収しました。

今年も発泡スチロールに向き合う大高下 AR の姿が印象的でした。(文：山本(加))



【自主観察会(1)小なきり海岸植物調査】

参加者：北野 呼坂 金山

入口下の湿地からハンゲショウが新芽を多数出していました。クマヤナギも若葉で覆われている。ヤブニッケイ、ヤマモモも元気で



(写真：河野)

入浜池補足調査①

日 時 : 4月1日(土) 13:00~14:30
 場 所 : 入浜池
 天候 : 晴れ
 行事推進員 : 大西 小川 小林(み) 穂井田
 松田 元広 横路
 出席者 : 大西 小川 小林(勗) 小林(み)
 穂井田 松田 元広 山本 横路
 以上 9名
 環境省 : 柘植課長

・CODについては
 測定値はAで6、Bで8でした。
 汚れは少ないようです。

【水質調査】 横路 晃
 令和5年度の定期総会の後、午後から入浜の補足調査①を実施した。
 今年に入り1月から3月の降水量が少なく(特に3月は例年の約半分)、池の水位が極端に低下していました。測定点の全地点で水位が標識杭まで達しておらず、杭の位置での水の採取が出来ませんでした。A点は杭から3.0m、B点は1.5mの地点で採水しました。

- ・PHについて
 各地点でやや酸性の値となっています。
- ・塩分濃度について
 測定値が2.0%と高い値となっています。これは、1月から3月の降水量が少なかったことも影響していると思われます。

【植物観察】 山本昌生
 2月11日に、ヒトモトススキの高芽を2か所植えたことを報告しました。今回、その後を調査しましたが、どちらも倒れて乾燥し枯れていました。発根の形跡がなかったため、植えた後、短期間で土から抜かれたように見えました。周りに動物の足跡があり、動物により抜かれたような感じでした。(写真1) このことから、苗を植えても何らかの方法で動物の加害から保護しないと成長できない可能性があることがわかりました。

そこで、植物公園で育てていた5本の苗を植え(写真2)、その周りに鹿よけネットを設置しました。(写真3)
 また、直径約30cmの株の周りに小さな実生株6本が確認できました。その実生株を保護するため親株も含めて周りをシカ除けネットで囲みました。(写真4) 保護することにより、順調に生育すれば、生育不良や衰退は環境の影響も考えられますが、直接には動物の影響が大きいと考えられます。

		満潮(7:29)276cm			干潮(13:50)140cm			
調査時刻	13:25	13:45						13:55
測定地点	A付近	B付近	中央付近	C	D	E	F	海水
杭 水位(cm)	—	—	—	—	—	—	—	—
水深 (cm)	2	2						
塩分濃度(%)	2.0	2.0						2.8
PH	6	5						6.5
COD	6	8						2
池水の流出状況(F地点)	※(F地点)流/出入の水流なし			山水の流量	10ℓのバケツが満水になる時間:20秒			



写真1.
 土から出て枯れていた高芽(2月11日植え)

【野鳥観察】元広 修爾



写真 2.
新しく植えたヒトモトススキの苗 (5 本)



写真 3.
植えた苗の周りに設置した鹿よけネット



写真 4.
株の周りの実生苗を保護するために設置した鹿よけネット

よく晴れていました。午前中は、杉之浦で当会の総会が開催されました。会場周辺は、ちょうど桜が満開でした。午後から調査関係者が入浜へ移動しました。野鳥については、大西会員、穂井田会員、私の 3 名で調査を行いました。

本日の調査のハイライトは、ヒヨドリの大群と美しいコゲラとの出会いでした。

入浜に到着直後のことでした。ヒヨドリの大群が鳴きながら飛び去って行きました。しばらくすると、近くの林に戻ってきました。その場にいた誰もが驚くほどの大群でした。

コゲラは、穂井田会員が林の中で出会いました。その際の美しい写真を添付します。

私自身は、砂浜で観察を続けました。砂浜で海を眺めながら、やや強い風に吹かれていると、日頃の仕事の疲れが癒され、穏やかな気持ちになります。林の方からヒヨドリやウグイスの音が聞こえました。繰り返す波の音、海で魚が跳ねる音、山から流れてくる水の音も聞こえて、入浜の自然の豊かさを感じました。

砂浜の岩場を静かに観察していると、嬉しい出来事が起きました。海からアオサギが低くゆっくり飛んできて、岩場の間に舞い降りました。ミサゴが海から静かに飛んできて、私の真上で急旋回し、山の方へ飛び去りました。少し残念なこともありましたが、岩場にはセグロセキレイやハクセキレイ、コチドリがいるはずなのですが、今回は出会えませんでした。

広い海の景色を眺めたり、野鳥と出会って感動することは、とても良い経験だと思います。当日来られていた環境省の柘植課長に教えていただいたことがあります。自然公園法は、風景を守ろうという発想から生まれたものなのだそうです。風景とは、西田正憲先生が述べられているように、自然が本来持っている人の眼を惹きつける魅力と、私たち人間が感じる自然の意味や価値の魅力を合わせたものかもしれないと実感する一日になりました。

全体としては、下表のとおり 13 種の野鳥たちに出会うことができました。鳥合せでは、今日は昼間の観察であったため、出会え

た野鳥が少なくなったのだろうという話になりました。

2023年4月1日 晴れ 13:00～14:30

種名	数	種名	数
アオサギ	2	メジロ	1
ホオジロ	2	エナガ	10
ヒヨドリ	500		
ウグイス	10		
ミサゴ	1		
トビ	7		
コゲラ	1		
ハシボソガラス	3		
ハシブトガラス	4		
ヤマガラ	1		
シジュウカラ	1		計 13 種

季節区分	冬鳥	夏鳥	留鳥

季節区分は、『ひろしま野鳥図鑑』（2002年 日本野鳥の会広島県支部（編）中国新聞社刊）」による。特に宮島での区分にこだわりました。



コゲラ（穂井田会員撮影）

清掃登山 (大砂利地蔵～鷹ノ巣高砲台)

日 時：4月22日（土）9:00～14:40

場 所：大砂利地蔵～鷹ノ巣高砲台

天候：晴れ

行事推進員：兎谷 村上(慎) 吉賀

出席者：猪谷 岩崎 上杉(裕) 上杉(幸)

北野 河野 増田 村上(慎) 森 吉賀

以上 10 名

今回の清掃登山は、棧橋～博打尾～大砂利地蔵～鷹ノ巣高砲台跡地～包ヶ浦をめぐるコースで実施しました。

当日はやや風が強く肌寒くはありましたが、晴天の中、宮島棧橋前広場に午前9時に集合し、陸軍道路分岐から博打尾に向かいました。



陸軍道路分岐から博打尾に向かう

予定通り9時50分に博打尾を通過し、休憩をとりながら大休峠、大砂利地蔵に11時10分に到着しました。大砂利地蔵には初めて行きましたが、このように離れた場所にもかかわらず定期的に清掃されていることに感動しました。また、すぐそばの滝にはきれいな水が流れており、汗ばんだ肌に風も気持ちよく清々しい気分となりました。



休憩（修験者と会う）

小休憩の後に大砂利地蔵を出発し、大休峠で昼食後、12時5分に包山の頂上に到着しました。ここから鷹ノ巣高砲台跡地までの下りは足場も悪く急斜面で滑りそうな場所も多くあり、木につかまりながらゆっくりと降りていきました。ストックをもって来なかったことを後悔したところでした。

12時55分に鷹ノ巣高砲台跡地にやっとの思いで到着。その後の包ヶ浦までの道は穏

やかに感じながら下っていき、13時45分に包ヶ浦に全員無事に着きました。13時55分発のバスに乗って帰る人もおられましたが、多くの方は徒歩で宮島栈橋に向かい、14時40分に解散しました。



入浜と黒神島を望む

一部の下りを除き、多くは尾根コースのため見晴らしが良く、北に大鳥居・大野瀬戸、南に入浜・小神黒島、東に包ヶ浦・絵の島などの風景を楽しみながら歩くことができました。皆さんお疲れ様でした。



集合写真（大砂利地蔵）

（ 文：吉賀 写真：河野 ）

◇ 編集後記 ◇

92号も皆様のご協力が無事に発行。

3年3か月の間、目に見えないコロナウイルスの脅威で宮島PV活動が制限されてきたが、5月8日で5類に格下げ。これからは国民的合言葉の三密（密閉・密集・密接）で行動して行きたい。振り返ると世間のドタバタが懐かしい。（麻生）

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方

環境事務所 広島事務所

（〒730-0012）

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎3号館1階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455